

犬山たび

卷之七
楽田編

わたしの街のとおき文化遺産

染田が位置するのは、犬山市の南西部。東の尾張山地の台地から犬山扇状地の低地に変わる緩やかな傾斜面に位置しています。この地には、青塚古墳や大縣神社、そのほか名も知れぬ古代の寺院跡などが存在しており、犬山の古い時代を考える上で重要な場所となっています。

このうち青塚古墳は、犬山西地区にある東之宮古墳を継いだ次世代の首長墓であると考えられている巨大な前方後円墳です。地域の人に守られ、今もなお当時の姿を奇麗に保っています。春、清明の頃になると、山頂は一面萌葱色に染まりまさに「青塚」の言葉通りの姿となります。

青塚が今ここに存在すること。それはこの地に人間が幾千の年月の間生き続けてきたことの確かな証なのです。



青草そよぐ、王の塚。
草を狩り蛇を払い、
この地を守り続けたのは、
名もなき人々の手。
引き継がれる、かけがえの無いものが
ここにある。楽田。



犬山たび

も楽田編

楽田 ココ特選

青塚古墳
あおづかこふん



六

大縣神社
おほあがたにしや



十

たびの案内人

犬山モモ次郎



久々ギス丸
くくぎすまる



モモ次郎と仲良しの雉。これからの目標は、次郎の「たび」の軍資金をいっばいためること。

その昔、桃太郎と一緒に鬼退治に出かけた勇敢なわんこ。これからの目標は、まだ知られていない犬山のお宝文化遺産をいっばい新発見すること。

楽田 & 物語

おけはん狐
おけはんきつ



九

コレ見て 文化遺産

どんと焼き
どんとやき



十二

諸鍾神社
もろかねじんじゃ



十三

神宮寺跡
じんぐうじあと



勝部廃寺
かちべはいじ



十四

楽田地下工場
がくでんかこうじょう



永泉寺
えいせんじ



十五

宮浦神明社
みやうらしんめいしゃ



楽田城跡
がくでんじょうあと



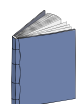
たびの お役立ち

モモ次郎の
わんわんマップ



十六

ギス丸の
たび文庫

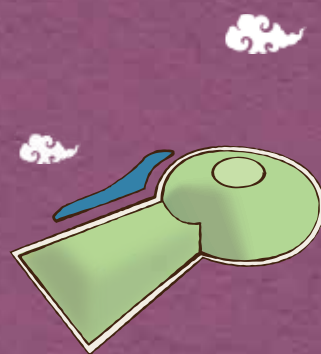


十八

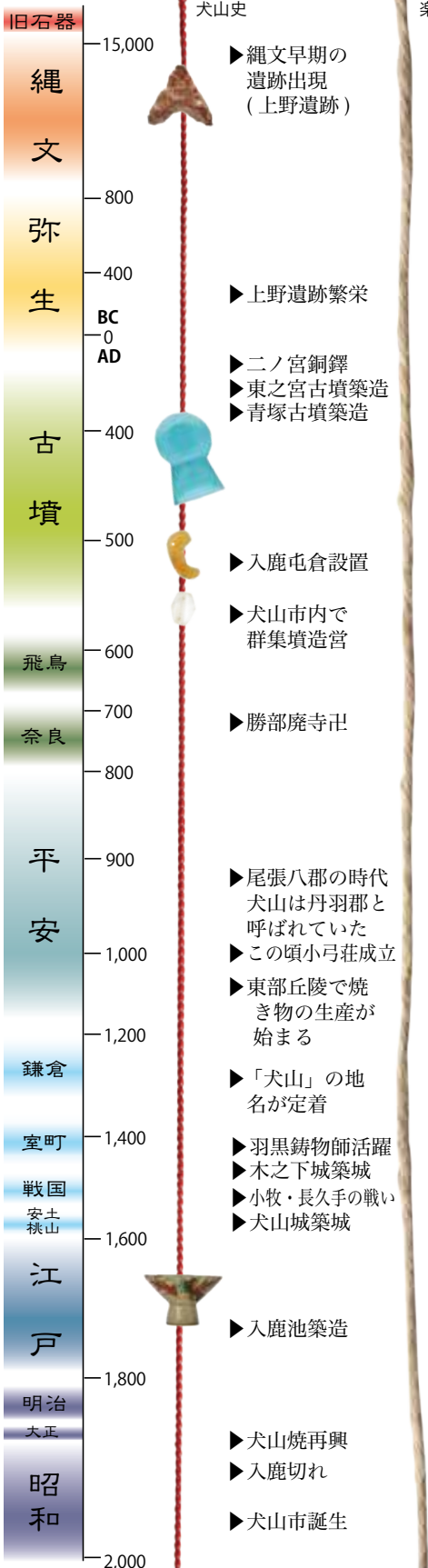
たびの仲間
は...?
十九頁で
紹介済み
カギタオニ



三年間にわたって犬山市で行った「悉皆調査」。その調査の中で見つけた魅力いっぱい文化遺産を、犬山七つの地区別に紹介します。『犬山たび』を持って、モモ次郎たちと楽しいたびに出かけましょう！



年表



キギス丸の鳥瞰 MAP

楽田は、犬山の南端部に位置する場所テブ。南は小牧市に接しているテブよ。明治の頃は「楽田村」とよばれている場所だったテブ。昔は青塚古墳以外にも、小さな古墳がいっぱいあったテブ。古墳時代、とても繁栄した場所だったテブね。



4 世紀中頃

青塚古墳築かれる (p.6)。

古墳時代後期頃

楽田山周辺に、小さな古墳がたくさん築かれる。

奈良・平安時代

神宮寺・勝部廃寺が築かれる (p.13)。



『尾張名所図会』に見る大縣神社の風景

1504 ~ 1522 年

楽田城築城 (p.15)。

1584 年

青塚砦築かれる (P.6)。

モモ次郎のワンワンメモ

青塚古墳がこの時代にも歴史の舞台として登場。古墳が砦になんて、なんだか不思議なかんじでしゅ。



1983 年

青塚古墳が国の史跡に指定される。



楽田コト特選

あお

青塚古墳



青塚、美しき
古代ニワの王

犬山市南部の楽田字青塚に所在する青塚古墳は、墳長123メートル、高さが約12メートルを誇る前方後円墳です。名古屋熱田区にある断夫山古墳に続き県下第2位の大き

さで、昭和58(1983)年国史跡に指定されました。天正12(1584)年、小牧・長久手の戦いの際には秀吉陣営の砦としても利用されたことから、別名「青塚砦」とも呼ばれています。

カテゴリ：遺跡・史跡
住所：犬山市青塚 22-3
成立年代：4世紀中頃
map：p.17



herica



整備前の青塚
(時期不明)



青塚山焼き風景
(1995.1 道家晴規さん撮影)



整備前の青塚
(岡部眞澄さん撮影)



青塚古墳 MAP

青塚古墳の謎

青塚古墳は円と長方形が組み合わさった前方後円墳とよばれる形をしており、前方部に2段、後円部に3段の階段（段築）を持っています。築造当時、墳丘全面は河原石で覆われていたと考えられています。墳丘のまわりには、窪地状の堀（周濠）があり、古墳の東側には土橋状の通路があります。各段には壺形埴輪が約2メートル間隔で置かれていたと考えられています。また、前方部の上には埋葬施設と考えられる方形状の壇（方形壇）が存在したことが発掘調査によって分かっています。また、方形壇の周囲には



▲壺形埴輪

円筒埴輪が巡り、鉄形石製品3点が出土しています。墳丘全面は河原石で覆われていました（葺石）。

発掘調査の結果から青塚古墳は4世紀中頃につくられたと考えられています。眠っている人物について、詳細なことは分かっていますが、青塚古墳の約3.5キロメートル東にある尾張二宮大縣神社では、青塚古墳はこの大縣神社の御祭神の神裔大荒田命の墳墓であると伝えられていることから、古墳の被葬者はこの地域にとって中心的な人物であったことが伺えます。



▲鉄形石製品

青塚古墳の守り人

青塚古墳の史跡公園としての整備が完了したのは平成12年のことで、それ以前は、青塚地区の人々が古墳の山焼きを行い、美しい青塚の景観を保ってきたそうです。地域の人が古くから守ってきた美しい青塚。いつまでも大切にしたい宝物です。



青塚野点の風景
菓子 銘「東之宮」
桜屋菓舗



雪の壺埴輪



青塚草刈り隊



古墳消しゴム



烏塚古墳

青塚古墳との関係は？ おとなりさんの古墳達

青塚古墳の周辺には、かつて多数の小さな古墳があり、「青塚古墳群」を形成していました。現在その多くは失われ、青塚古墳の南側にある烏塚古墳^{からすづか}と、西側の竹藪内にある花塚1号墳、2号墳、3号墳が残るのみです。これらの古墳は、4世紀後半ごろの築造で、青塚古墳はその盟主墳であったと考えられています。

また、周辺の状況を見ると、本宮山の西側にある通称「栗田山」には、古墳時代後期につくられた数多くの小さな古墳が点在していたようです。本宮山の南西の丘陵一帯には、蓮池古墳群^{いづけ}が存在していました。昭和25（1950）年、昭和26（1951）年に1号墳、2号墳の調査がされ、2号墳からは小型の家形蔵骨器が発見されています。



巾下川から
花塚古墳のある
段丘を望む風景

おけはん狐



カテゴリ：おすすめ
住所：犬山市楽田青塚
成立年代：—
map：p.17

昔話
「おけはん狐」

青塚古墳の約200メートル南方に「王畦畔稲荷大神」と言われるお稲荷さんを祀ったお堂がひっそりと建てられています。この稲荷大神とされているおけはんの狐について、こんな昔ばなしが残っています。

この青塚地区には「おけはん狐」とよばれる狐が住んでいました。ある日お百姓が馬をひいていくのを見て、その馬がほしくなり、おけはん狐は美しい人間に変身し、お百姓さんを化かそうとしました。しかし、お百姓さんの方が一枚上手で、狐は馬の背でしばらくとられてしまったとのこと。おけはん狐は許してもらったために「わび証文」を書きましたが、その文字は四角の行列だったとい



おけはん 王畦畔稲荷大神



昔話、今の地

王畦畔稲荷大神は、現在の場所に移る前は、青塚古墳の南西部にある花塚1号墳の墳頂に祀られていたとされます。いつ頃、そこに社が出来たのかはつきりとしませんが、楽田にこんな不思議でちょっぴりかわい

大縣神社

おおあがたじんじや



本宮山にすまう「尾張二宮様」

本宮山の南西麓に位置する大縣神社は、大縣大神を祀る神社です。大縣大神は瀬波縣主祖とされる大荒田命の祖神と言われています。まさに、古くからのこの地の守り神様。厳かで美しい世界に触れてみましょう。



カテゴリ：建造物
住所：犬山市字宮山3
成立年代：垂仁天皇 27(BC3) 年
map：p.16



大縣神社は背後にそびえる本宮山を神体山とし、かつては本宮山山頂に鎮座されていました。垂仁天皇27(紀元前3)年に現在の場所に遷座されたと伝えられています。また、「尾張の二宮」として古い時代から広く人々に信仰される対象であり、「二宮」の真清田神社(愛知県一宮市)、「三宮」の熱田神宮(愛知県名古屋市)と並び、重要な場所でした。



大縣神社の歴史

名鉄楽田駅より1.5キロメートルほど東に進むと、大縣神社の鳥居が見えてきます。ここが、大縣神社。鳥居をくぐると境内には荘厳な雰囲気を感じさせます。





現在の社殿は、尾張藩主2代目徳川光友公が寛文元（1661）年に再興した建物で、特に本殿は「大縣造」や「三棟造」と呼ばれ、他に類をみない特殊な構えとなっており、昭和56（1981）年に国の重要文化財に指定されています。

また、大縣神社本殿の奥には、楽田神社や、大国恵比須神社、姫之宮などが鎮座しており、特に、摂社「姫之宮」は玉比売命を祀り、縁結びなどの神様として多くの人に親しまれています。また、かつては敷地内に別宮2社、末社52社、神宮寺が7寺あったようで、いかに大きな神社であったことが窺えます。いにしえの時代より、地域の信仰の中心であった大縣神社。これからも、この地の守り神さまとして、無くてはならない存在であると言えます。



豊年祭の風景
と大縣神社で
見つけた魅力
的なモノたち



願いを込めて、
豊年祭

大縣神社の姫之宮では、毎年3月に五穀豊穡・国家安泰などを祈願して豊年祭が行われます。境内や参道に数多くの出店が並び、多くの見物客で賑わいます。

この祭りの見どころは、西方に位置する諸饗神社から、大縣神社までの約1キロメートルの道のりを神輿や神馬が練り歩く神幸行列です。天狗のお面を被った猿田彦を先頭に、100人を優に超す参列者が1時間ほどかけて練り歩く様子は圧巻です。この神幸行列のうしろには、天馬飾りといって色紙を付けた棒をワラにさした厄除けの飾りが列をなします。また、地元の有志などによる大鏡餅の奉納も行われるなど、祭は盛大に行われ、犬山西地区の犬山祭、今井・池野地区の石上げ祭などと並び、犬山を代表する祭りといえます。



天馬飾りたち



猿田彦様



どんと焼き



カテゴリ：祭り
住所：犬山市楽田大門
成立年代：一
map：p.17

写真提供：田村裕さん

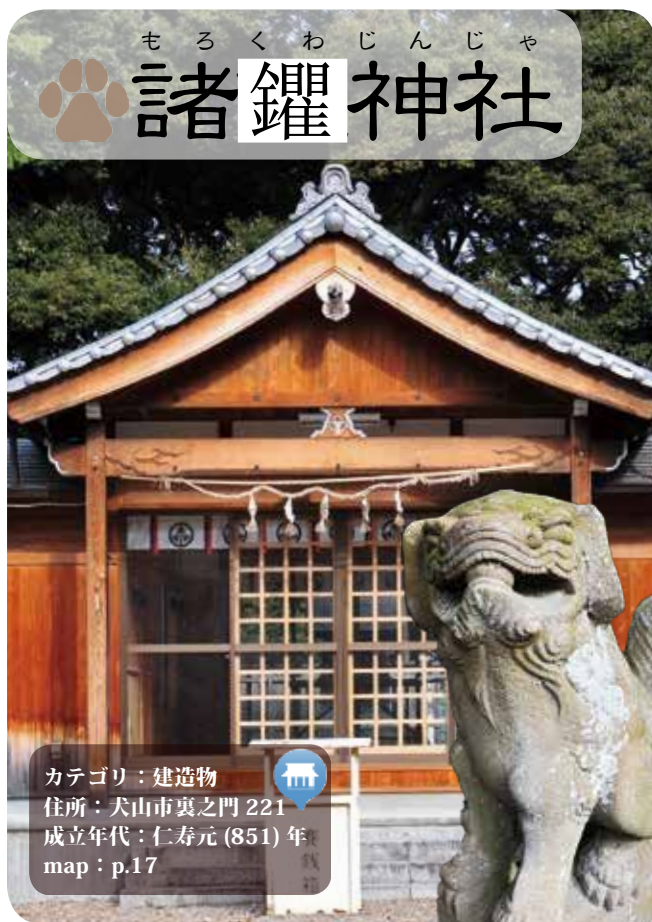
年始、どんと焼きに
願いを込めて

どんと焼きは、左義長ともいわれ、新年に飾った門松やしめ縄、書き初めで書いた物を持ち寄って焼く年中行事です。どんと焼きの火にあたり、焼いた餅を食べれば、その1年間健康でいられるなどの言い伝えもあり、楽田の青塚地区では無病息災・五穀豊穡を祈願して毎年1月14

日に行われています。寒さが厳しい中、多くの方々が集まり、どんと焼きの火で暖を取りながら、新年の挨拶を交わす様子は、どこか昔懐かしさを感じる風景です。



諸鐙神社

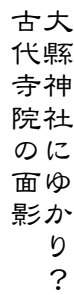
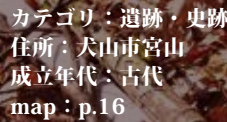
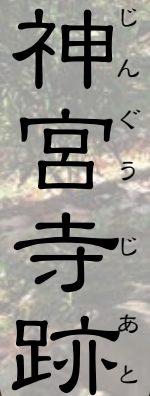


カテゴリ：建造物
住所：犬山市裏之門 221
成立年代：仁寿元(851)年
map：p.17

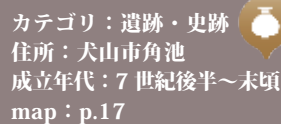
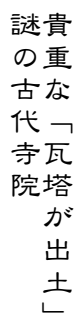
坂上田村麻呂ゆかり
の地、楽田の式内社

名鉄楽田駅から、東に約200メートルの場所に位置する諸鐙神社は、延長5(927)年に書かれた『延喜式神名帳』にも記載される式内社ともされており、古来より信仰されてきた歴史ある神社です。この神社の由来として、延暦年間(782〜806年)に、征夷大將軍とし

て東北を討伐したことで有名な坂上田村麻呂が、尾張・伊勢両国の土族退治のために派遣された際に、崇拝していた神様である建御名方命の分霊をこの地にまつり、無事に土族を征伐したと伝わっています。



また、神宮寺跡の他にも西福寺跡、常福寺跡、真蔵寺跡、不動王跡、小西寺跡といった寺院跡が、大縣神社北側の山麓に存在したとされ、周辺には各寺院に関わる地名も残されています。

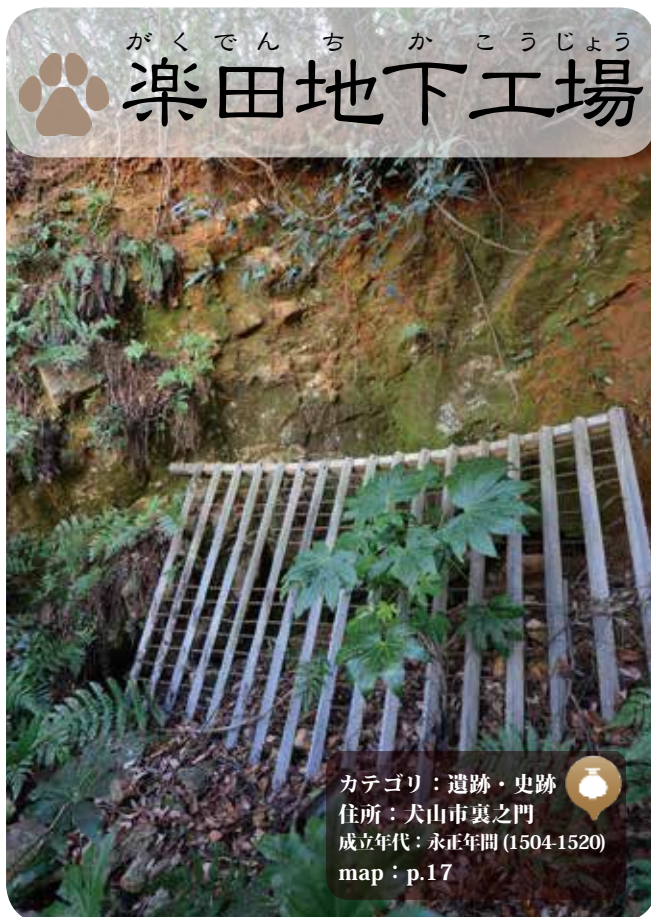


寺院は、承久3（1221）年におこった承久の乱の際焼失したと言われている。昭和47（1972）年に犬山市郷土文化会によって発掘調査が行われた際は平安時代の瓦塔がとうという仏塔を模した焼物製の塔も見つかっており、寺院は7世紀後半から末頃に創建されたと考えられています。



▶出土した瓦塔





がくでんちかこうじょう

楽田地下工場

カテゴリ：遺跡・史跡
住所：犬山市裏之門
成立年代：永正年間 (1504-1520)
map：p.17

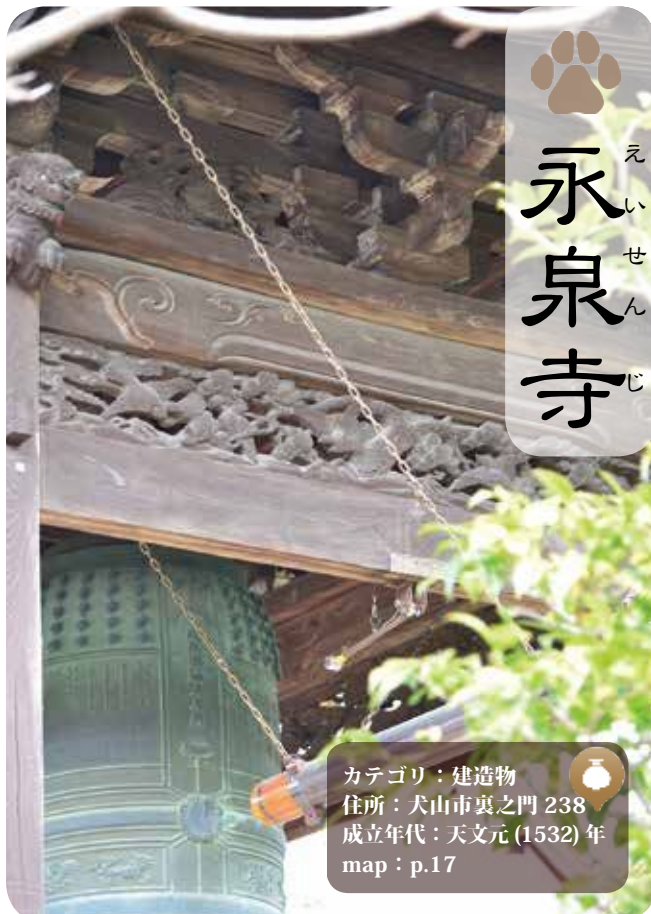


楽田秘密の地下工場

名鉄羽黒駅から、東南に約2キロメートル行つた山の東側に工場があり、その敷地内に地下工場跡地があります。戦時中に、三菱重工業（株）名古屋発動機製作所の疎開工場の一つとして造られました。

東口から5本、西口から4本のトンネルを並列に掘り、横穴で各列を連結させる計画で、昭和20

（1945）年3月頃に着工されましたが、2本を貫通させましたが完成する前に終戦を迎えたようです。周辺の岩質は花崗岩や硬質頁岩（けつがん）といった非常に硬いもので、工事に従事した人々の苦勞が偲（おも）われます。



永泉寺

カテゴリ：建造物
住所：犬山市裏之門 238
成立年代：天文元 (1532) 年
map：p.17



信長ゆかりの寺院

永泉寺は名鉄楽田駅から約300メートル北東に位置する、臨済宗洛西妙心寺派の寺院です。東に隣接して式内社諸楸神社があります。

永泉寺は天文元（1532）年、地元の名士、野呂長者（のろちやうぢや）が泰秀宗（たいしゅうそう）韓和尚（かんわしょう）を招いて建立したと伝わります。泰秀宗韓和尚は織田信長とも親交があり、信長が度々この

寺を訪れていたとも言伝えられています。天正12（1584）年、小牧・長久手の戦いの際には焼失したようですが、その後、再建されて現在に至ります。



◀境内にある仏塔「宝篋印塔」。

県下最大級。



大楠とともに

宮浦神明社は、楽田地区と羽黒地区の境付近にある神社です。木曽街道沿いに面しており、神社の隣には弘明寺が隣接しています。御祭神には天照大御神をお祀りし、境内には、他に鹿島社や稲荷社、津島社等があります。

宮浦神明社が、現在の地に遷座したのは享保16（1731）年で、創建当時は、羽黒の八幡林南部にあつ



たと伝わります。神社の境内には、樹齢約300年ともされる立派な楠があり、楠は、神明社が遷座した時に植えられたとも伝わります。幹廻り約5メートル、高さは約27メートルで、市内でも最大級の巨樹であり、迫力のある美しい樹形を誇ります。

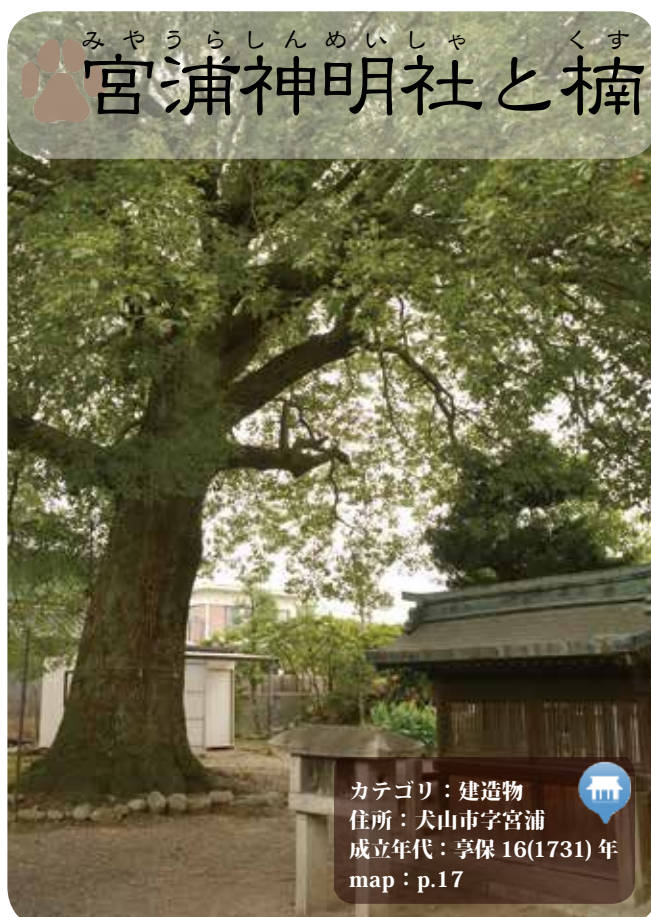


織田氏ゆかりの城跡

楽田城跡は、小牧市との市境付近の楽田字裏之門に所在する戦国時代の城跡です。城山といわれる小高い丘に立地しており、現在、城の主要部は犬山市立楽田小学校の敷地となつています。

楽田城は永正年間（1504～1520）頃、織田久長が築城したと伝えられています。その後、永禄年間（1558～1570）に犬

山城主であつた織田信清に攻略されたましたが、織田信長が信清を追放し、家臣の坂井政尚を楽田城の守将としました。その後、小牧・長久手の戦いに際しては、楽田城は羽柴秀吉陣営の陣として使われ、歴史的戦いの舞台となりました。現在は小学校の北にある裏の門跡の石碑や、北西旧木曾街道沿い（横町）の北の門跡の石碑、などが残るのみです。



カテゴリ：建造物
住所：犬山市字宮浦
成立年代：享保 16(1731) 年
map：p.17



カテゴリ：遺跡・史跡
住所：犬山市裏之門
成立年代：永正年間(1504-1520)
map：p.17







交通



おすすめ



(縮尺：1/12500)

(地理院地図電子国土 Web を加工して作成)

p.13 神宮寺跡

p.10 大縣神社

二ノ宮

大縣神社

p.10 本宮山

Δ292, 9

p.10

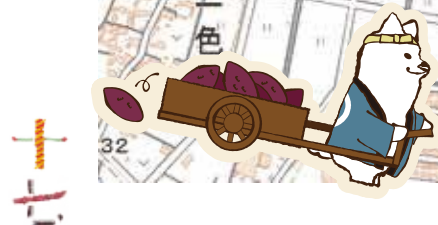
山崎

荒井

桃山台



もも次郎
わんわん
マップ





引用・参考文献一覧

全巻共通

愛知県犬山市役所秘書企画課、1983、『犬山のむかしばなし』、犬山市役所。
愛知県犬山市役所秘書企画課、1987、『犬山のむかしばなし 第2集』、犬山市役所。
愛知県犬山市役所、2004、『犬山ものがたり』、犬山市役所。
愛知県史編さん委員会、2010、『愛知県史』別編 自然、愛知県。
犬山市エコアップリーダー、2004、『犬山の巨樹・古木 50選』、巨樹巨木調査グループ。
犬山市教育委員会、1993、『犬山市の文化財』、犬山市教育委員会。
犬山市教育委員会・犬山市史編さん委員会、1983、『犬山市史』史料編三 考古 古代・中世、犬山市。
犬山市教育委員会・犬山市史編さん委員会、1985、『犬山市史』別巻文化財・民俗、犬山市。
犬山市教育委員会・犬山市史編さん委員会、1997、『犬山市史 通史編上』、犬山市。
犬山市教委委員会、2002、『全市博物館構想 市民が創る生涯学習のまち』、犬山市教育委員会。
横山住雄、1990、『犬山の歴史散歩』、濃尾歴史文化研究所。

本巻

犬山市教育委員会、2001、『史跡青塚古墳調査報告書』犬山市埋蔵文化財調査報告書第1集、犬山市教育委員会。
(財) 岩田洗心館編、2001、『史と詩の町から犬山』vol.2-3・通巻第5号、犬山名所協会。
楽田村史編さん委員会、1967、『楽田村史』、楽田村史編さん委員会。
梶原義実、2010、『第2章 主要遺跡解説 15. 角池遺跡』『愛知県史』資料編4、p.86、愛知県史編さん委員会編。

たびにオススメの資料

楽田の歴史について『楽田歴史散策マップ』楽田歴史文化を守る会発行

楽田地区の史跡や社寺が分かりやすく紹介されている散策マップ。全部で4コースあります。青塚古墳ガイダンス施設などで配布しています。

青塚について

赤塚次郎、2010、『壺はにわとその仲間たち』遼波里新書001、NPO 法人古代遼波の里・文化遺産ネットワーク編集部。

青塚古墳の特徴の一つである「壺はにわ」の話を中心に、青塚古墳を分かりやすく紹介。青塚古墳ガイダンス施設で販売しています。

本書で紹介されている文化遺産カードについて

「青塚古墳」「青塚砦」(p.6)... 配布場所：青塚古墳ガイダンス施設 ※詳細は下記をご参照ください。

文化遺産を訪れて、カードを集めよう！ 文化遺産カード

文中に、hericaマークがついているものは、「文化遺産カード」がある文化遺産です。文化遺産を訪れてカードをたくさん集めましょう！



文化遺産カードの楽しみかた



スマートフォンで文化遺産や史跡めぐり 犬山文化遺産ナビ



文化遺産ナビとは、iPhone/Android/Black Berry/Symbian などスマートフォンで使えるアプリ「Layar」を使った犬山の文化遺産ナビシステムです。どこにどんな文化遺産があるのか、またどんな方法で訪れればいいのか、簡単に調べる事ができます。アプリ「Layar」をダウンロードして、「犬山文化遺産ナビ」を検索！

【Layar/レイヤー】

オランダ LAYAR BV 社が開発・提供する AR (オーギュメントドリアリティ 拡張現実) アプリケーションです。スマートフォンに搭載されている GPS、電子コンパス、カメラの機能を利用して、自分の周りにおける位置情報を表示します

※本アプリは無料ですが、アプリのダウンロードやコンテンツ閲覧等には別途通信料がかかります。ご利用前に料金プランをご確認ください。

Layar 詳細情報：<http://www.layar.jp/>

文化遺産カードの詳細な情報は HP(<http://herica.net>) まで



犬山たび 楽田編

🍄 たびの仲間紹介



犬山たび 巻之七 楽田編

発行年

平成 27 年 3 月 26 日

発行

犬山市教育委員会

〒484-8501

愛知県犬山市大字犬山字東畑 36

犬山市役所

企画・編集

特定非営利活動法人

古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク

〒484-0084

愛知県犬山市大字犬山字南古券 288-7

編集スタッフ

【監修】赤塚次郎

【編集・レイアウト】奥野絵美

【Map 作成】大塚友恵

【写真】中野耕司

【編集協力】岩田紗絵・長谷川文雄・西松賢一郎・
麻野純子・平野昌子

悉皆調査調査員

赤塚遼太・麻野慎策・荒井たつよ・在野一生・市澤泰峰・
井上正昭・上田誠人・内田恭司・岡本利雄・加藤有理香・
兼松泰弘・木村直光・久保禎子・瀬瀬 茂・近藤健一・
齋藤 晶・櫻井 敬・高橋幸子・田口 韶・中島和哉・
中野金弘・名和奈美・野田香代・野々村光雄・服部
哲也・葉栗克彦・長谷川富江・坂野俊哉・東野由貴子・
広瀬まり・舟橋正恭・町田義哉・宮下香代子・山崎克江・
山本綾乃・吉田さよ子・渡邊 智

協力

ナカシャクリエイト株式会社
大縣神社



※本書の内容、テキスト、画像
の無断転載、無断転用を禁止し
ます。

